

<多治見空手道教室だより>

R 1. 9. 23

私が岐阜県空手道連盟で、大会の運営に関わる様になったのは、2012年の岐阜国体を、多治見市で行うことが決まった次の年2008年に、第63回大分国体空手道競技を、中津市に視察に行ったことが始まりで、その時に今回のマスターズに全空連役員として来て下さった、宮崎県の佐藤彦空先生に大変お世話になり、空手の大きな大会など全く知らなかった私が、新潟・千葉・山口と毎年国体の視察に行きマスターズも選手として出ているので、運営に関しては有る程度の知識を身につけることが出来ました。

2012の岐阜国体では教室の皆さんにも大勢運営に関わって頂き、運営だけでなく選手達も総合優勝をしてくれ、その後毎年の県連の大会等でも、折角身に付けた運営のノウハウを忘れないように大会運営部を提案し、一昨年のマスターズ兵庫の視察もして、今年の2019ぎふ清流大会空手道競技に潜ぎ着けました。



15年連続出場表彰を受ける

今日のお便りは、マスターズ2019ぎふ清流大会空手道競技と、教室での連続出場祝いについて報告します。

記

1. マスターズ2019ぎふ清流大会空手道競技 9/14~16 (土日月) 岐阜メモリアルセンター
競技前日の13日には、午前中は大会準備会社のセレスポ社が、役員のみな壇などを作り、4コートのマットや練習会場のマットの敷設などの準備をし、15時から岐阜キャッスルインホテルで、審判会議・監督会議があり、18時から全空連役員・審判員・県連役員等65名が参加して、歓迎レセプションがあり青島、江崎、吉田の3名が参加しました。

14日朝の開会式には連続出場者の表彰があり、昨年地震で中止の北海道と今年の岐阜で118名が表彰され、吉田先生は北海道で5年連続表彰、青島は今年15年連続表彰で、青島が代表で笹川会長から表彰状を頂きました。1日目の岐阜県選手試合では、今壮志選手が男子1部組手で準優勝しました。

15日の午前中は10時頃に男子4部形があり、青島が2回戦にニーパイボを打ち、自分的には落ち着いて力強く打ったつもりですが、岡山の赤の選手も同様のニーパイボで、0-5で負けてしまいました。

3番目は女子形2部で、吉田先生が1回戦でバッサイをピシッと決め、勝ったと思いましたが、山口の選手のジョーンに2-3で負けてしまいました。

岐阜県選手では、杉原和江選手が女子組手3部で優勝し、男子組手3部の藤本秀樹選手が準優勝しました。

また、拳和会の三厨晴恵師範が女子2部形で4試合勝って、決勝は沖縄の選手に負けましたが準優勝でした。

16日の試合の岐阜県選手は女子組手4部で高橋みゆき選手が3位になり、女子組手5部の堀礼子選手も3位になり、男子1部形の今壮志選手が、男子形1部でも5位に入りました。

拳和会本部の桑子也和宗家は、今年は苦戦の連続で、2回戦のニーパイボで千葉の選手に3-2で勝利、3回戦はアーナンで鹿児島県の選手に3-2で勝利、4回戦はチャタンで神奈川の選手のリンペイに1-4敗戦で5位入賞に留まりました。



青島のニーパイボ



吉田先生のバッサイダイ



2019ぎふ清流大会岐阜県選手団

15度目の大会出場
師匠の勇姿示した
青島さん男子形4部
○：男子形四部(七十歳以上)の青島忍さん(全世)多治見市は今年でマスターズ十五度目の出場となった。地元開催の大会は初戦敗退に終わったが、晴れ晴れとした表情を見せた。
二十五歳の時、会社の空手部で競技人生をスタート。三十七歳で多治見市内に道場を開き、現在道場生は百人にのぼる。同市内の中学校や特別養護老人ホームなどで稽古を開くなど、精神的に指導している。師匠の勇姿を見ようとする。



教え子に奮闘を見せた青島さん(後列右から2人目)

くの教え子も集合。中学二年の灰塚通音さん(右)は「マナーには厳しいけど優しい師匠。試合中の姿はかっこよかった」と話した。青島さんは「指導者が出ることに意味がある。健康のためにも出場し続けたい」と来年以降の出場に意欲をのぞかせた。

15年連続出場の中日新聞記事



表彰式の競技プラカード



キビキビ誘導の競技プラカード



ぎふ清流大会終了後大会運営部員の記念撮影

2. 拳和会多治見の土曜練習のサプライズ 9/21(土) 多治見陶生苑集会所
多治見教室の土曜練習で、マスターズ連続出場の青島と吉田先生を、全会員が祝福して下さいました。



指導者と一緒に記念撮影



幼児から花束を贈られる



お礼を言う吉田と青島



拳和会多治見教室の生徒に囲まれて、マスターズ連続出場祝いの記念撮影

発行責任者 青島 忍 携帯090-2344-5933 Eメール aoshimas@bronze.ocn.ne.jp